

平成29年本宮市教育委員会1月定例会会議録

1 日 時 平成29年1月19日(木) 午後1時30分～午後2時10分

2 場 所 本宮市役所 3階 第1・2常任委員会室

3 出席委員 教 育 長 原 瀬 久美子
教育長職務代理人(1番) 谷 明 子
委 員(2番) 渡 辺 俊 之
委 員(3番) 古 宮 博 文
委 員(4番) 遠 藤 傳一郎

4 出席職員 教育部長 後藤 章
上席参事兼教育総務課長 矢吹 誠司
上席参事兼第一保育所長 中村 孝子
幼保学校課長 渡辺 裕美
生涯学習センター長 菅野 安彦
参事兼管理主事兼指導主事 渡辺 敏弘
指導主事 穠山 俊之
(書記)教育総務課総務係長 渡辺 好晴

5 傍聴人 なし

6 案 件

- 議案第1号 平成29年度本宮市教育委員会重点施策について
- 報告第1号 スキー体験教室について
- 報告第2号 にじいろひろば2016冬. 活動報告について
- 報告第3号 第35回上尾市市民駅伝競走大会参加について

7 審議経過

【午後 1時30分開会】

◇教育長 皆さん、こんにちは。

ただいまから、教育委員会1月定例会を始めます。

◇**◎会議録署名委員の指名**

◇教育長 会議録署名委員の指名を行います。

今回は、3番委員と4番委員にお願いいたします。

◇**◎議案第1号 平成29年度本宮市教育委員会重点施策について**

◇教育長 それでは、本日の審議に入ります。

議案第1号 平成29年度本宮市教育委員会重点施策について説明をお願いいたします。

◇書記 定例会資料の1ページをごらんください。

[議案第1号を朗読]

◇教育長 参事。

◇参事兼管理主事兼指導主事 それでは、議案第1号の平成29年度本宮市教育委員会重点施策について説明をさせていただきます。

別冊の資料をお読みください。

変更点のみご説明させていただくようにしたいと思います。

ページめくっていただきまして、1ページから4ページまでの基本的な計画の部分については、変更、修正等は一切ありません。

5ページをお開きください。

平成29年度本宮市学校教育指導の重点です。

赤字の部分が修正点になります。左側のほうからご説明いたします。

まず、「重点目標」の中の「思考力・判断力・表現力の育成」のところ、中ほどですけれども「話し合い活動の充実」となっているところを「思考の共有と吟味を促す学びあいの充実」というふう文に文言の訂正を行っています。単なる話し合い活動の充実ということだけではなしに、子供たち同士の思考の共有、それからその共有した思考内容をお互いに吟味し、よりよい考えを生み出していく、そういった深いところまで追求したいということで、文言を修正したものです。

その下の「重点施策」のところですけれども、「教員の指導力向上研修の充実」、こちら削除しておりますが、こちらは下の「基盤」となる内容のところと同様の内容がありますことから、削除しております。

かわって、新たに「算数・数学科の指導訪問の実施」、それから「ICT環境の整備」、2項目を追加しています。これはこれまでの市内の小・中学生の学力の状況を見たときに、算数・数学科の学力が若干低下している、それに対して対策をとるということで上げているものです。また、ICT環境の整備については、こちら来年度から教育委員会の重点として取り組んでいきますことから、ここに項目として上げています。

「読書活動の充実」の中の「学校司書の配置」、こちらについては2名現在配置されておりますので、その項目自体は削除をして、新たに以前ご説明申し上げておりますとおり、安達の3市村で共通に、家族読書の奨励について取り組んでいくということにしておりますので、その項目を入れています。

次に、「人間関係形成能力・意思決定能力の育成」の欄ですが、「重点目標」の2番目、これまで「学校行事、学級活動、児童会や生徒会活動」というふうに表記をしておりましたが、これらの内容は全てまとめて特別活動というふうに称しておりますので、そのように文言の整理を行っています。さらに、その項目の中で、「教師と児童生徒との信頼関係、児童生徒相互の共感的な人間関係を育てる場の設定」という項目をつけ加えています。

また、3番目に、新たに「道徳教育の充実」、「読み物道徳」から「考え、議論する道徳」への転換、「道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実」という項目を加えています。学習指導要領の中でも道徳が教科化されていくなど、さまざまな動きが出てきておりますので、それに対応して心の教育の部分についてつけ加えていくものです。

その下の「重点施策」のところは、先ほど申しあげましたとおり、下の「基盤」の欄に同様の内容がありますことから、削除しております。

「走力・持久力の育成」の項目ですけれども、こちらの朱書きの部分については、名称を正式な名称に、きちんとした書き方に改めたという内容になっています。

それから、一番右側の「地域に根差した学校づくりの推進」のところでは、「遊友クラブ」のところ、括弧の中が「公民館」となっておりましたが、「生涯学習センター」ということで、担当の部分を正式に正しいものに改めています。

その下の「基盤」と書いてある欄なんですけど、こちら赤書きの部分は、これまで個別の計画、個別の指導計画の作成、活用ということを上げていたところなんですけれども、さらに範囲を広げまして、今盛んに言われておりますインクルーシブ教育システム推進事業、こういう事業があつて、なかなか内容的には、各学校現場や幼稚園等で利用すれば大変効果的な事業が行われておりますので、その事業を積極的に活用してもらおうという考えで、これを明記したものです。

「主な達成基準」なんですけれども、「走力・持久力の育成」の欄のところ、朱書きのところ、何か所かありますが、1番目のところは「新体力テスト」、テストの名称を正しくということで、「新」という言葉をつけています。さらに、それぞれの項目について、特に重点としたいところを明記して、わかりやすくしたものです。

以上が、学校教育指導の重点のほうの修正点になります。

次、6ページですが、こちらは保育所・幼稚園教育指導の重点です。こちら修正点は朱書きしておりますけれども、中ほどの「人とかかわる力の育成」のところ、「葛藤や共同体験する環境づくり」というふうにしてありますところを、「葛藤や共同体験ができる環境づくり」、わかりやすく文言を修正しております。

同じく右側の「健全な心と体の育成」のところも、表現を正しく、わかりやすくというような修正を行っているところです。

一番下の「重点施策」のところなんですけれども、これまで新任研修が行われておりましたが、さらに2年目の先生方のフォローアップ研修ということで取り組むことに決まっておりますので、それを明記したものです。

その右側に「絵画教室」というものをつけ加えてありますが、こちら側も以前から実施はされていたところなんですけど、ここに明記されておりましたので、追記をしていっております。

下から3行目、「読書活動の推進等」ということで書いてありますが、こちらは先ほど学校教育指導の重点でお話ししたとおり、家族読書に積極的に取り組んでいく、それを核として読書活動全般について推進をするという意味で追記をしています。

次に7ページですが、こちらは1カ所のみ、名称を正しい名称に修正をしたものです。ページという下の方になりますけど、読みやすいほうに向けていただくと、一番左側の欄になりますけれども、これまで「出前おはなし会の開催」というふうにしていたものを「出張おはなし会」というふうに変更したものです。

8ページは修正ございません。

9ページです。

9ページ、一番下のところ、(3)の「幼保総合施設事業」というのがありましたが、こちらは事業が完了しておりますので削除をしております。

次、10ページです。

中ほどに「国内交流派遣事業（新規）」というものが追記されております。こちら、平成27年度までの計画にはもともとあったものなんですけれども、なかなか実施が困難であったために、平成28年度、今年度の目標からは一旦削除しておりました。今回新たにへそのまじ協議会の関係で、この夏に小学生を沖縄の宜野座村に派遣するという話が出てきておりました、それに合わせてこの国内交流派遣事業を復活させたという形になります。

その下のところは、「招聘」の表記を両方の漢字に直したものです。

下のほうにあります「スクールソーシャルワーカー配置事業」、それから「学校復帰支援事業」の内容については、同じ内容が項目としてその下に書かれておりましたので、そこを整理して（1）、（2）の項目のみに修正をしたものです。

11ページです。

11ページでは、「学力向上対策事業」の中で、説明文の後半の部分、同じ内容を2回書いたような表記になっておりましたので、最初の「各種検定」ということで検定の種類を全てまとめて、後半の部分は削除したという整理になります。

12ページです。

12ページ、（3）番、これまで「市民競技力向上対策事業」という名称で行ってございましたけれども、こちらを「体験活動促進事業」というふうに改めまして、トップアスリートや地域の指導者の方などと交流をし、指導を受けるというような事業内容に変更しております。

続いて、13ページです。

13ページも先ほどのところのように、「招聘」の字を漢字に直しました。

14ページです。

14ページは、下のほうになりますが、先ほど来お話ししております安達3市村で取り組む家族読書に関して、「家族読書100冊」による家族読書の啓蒙と推進」という項目を新たに加えております。さらに、学校司書については、学校司書との連携によって読書活動の推進を行うということで、字句、文言を直しております。

15ページです。

15ページ中ほど（4）の「世代間をつなぐ学習の支援」という項目がありましたが、こちらの事業については3年間の事業で計画されておりました、事業そのものを完了することから削除するものです。

16ページは、修正点はございません。

17ページです。

一番上のほうになりますが、市民のニーズに合った「美術」というふうに限定をしておりましたが、そこを範囲を広げて、芸術一般の形に直したものです。

18ページも変更点はございません。

19ページです。

赤い部分が多くて大変見づらいかと思うんですけれども、まず（1）番の「学校施設等耐震化推進事業」につきましては、これまでに上げておりました学校施設につきましては今年度で完了いたしましたので、そこを一切削除しております。さらにその後、保育所について、②ということで追記をし、あるいは修正をしているというところですよ。

（2）番に、新たに「中学校施設維持管理事業」ということで、内容的には白沢中学校の防水改修工事を実施するという項目が、新たに加わりました。

(3) 番の「本宮第二中学校環境整備事業」については、引き続き次年度も取り組み、グラウンドの拡張造成工事を進めるということとしております。

次の「社会教育施設耐震診断事業」については、こちらも継続になりますが、対象の施設名のところを訂正をしております。

そして、もともとの(4)番のところ、「社会体育施設整備事業」については、屋内運動施設、完成いたしましたので、事業終了ということで、ここを削除しております。

最後の20ページについては、修正等はありません。

以上、ご説明申し上げます。

◇教育長 それでは、議案第1号に対する質疑を行います。

遠藤委員。

◇4番委員 9ページなんですけれども、一番下の幼保総合施設事業について、幼保総合施設の保育内容・運営・役割等の検証を行うということですが、これは検証結果については、もう出ているんですか。

◇教育長 幼保学校課長。

◇幼保学校課長 検証については、通常どおり、通常の現状というか、合築が大きく、大きい施設になっても同じような運営ができているというようなことで、文書とかにはなっておりませんが、通常滞りなく運営ができているということで、今回こちらは削除させていただきます。検証という文書では、特に文言はありません。

◇教育長 遠藤委員。

◇4番委員 検証を行うという、こういう表現であれば、必ず結果をあらわして、こういった委員会に提出するということが必要だと思います。特に今、第2、第3保育所の話とか出ていって、何かペーパーでこういった検証結果を出していただきたいと思います。そうすると、いろいろ参考にもなるかと思いますが、特に規模的にも大分大きなところなので、今回削除するのではなくて、継続的な検証を行うと、そういう表現にして残すべきじゃないかなと思います。大きさに特異な大きくなるので、継続的な検証を行うとか、そういう形で残していただいて、毎年検証した中で、よりいいものにしていくとか、そういったことを提案したいと思います。

◇教育長 事務局、どうですか。残すや続けてとか、そういうご意見をいただきましたが、いかがでしょう。

課長。

◇幼保学校課長 それでは、今委員おっしゃったとおり、規模も大きく、今回第2、第3の保育所等もございまして、検証を続けていくというふうな形で、文言を訂正させていただきたいと思っております。

◇教育長 遠藤委員。

◇4番委員 15ページの真ん中辺の(4)、これも削除された案件なんですけれども、世代間をつなぐ学習の支援ということで、ふるさとの魅力再発見地元学事業、これは3年間継続だったというお話だったんですけれども、これも削除されるのが非常に残念だなというか、今回岩根小学校を学校訪問したとき、みずきが丘の方々にとって、新しいふるさとになると。そうすると、岩根小学校が、地元にあるいろんな文化的な財産とか、そういうものを視察するというをやっていたけれども、自分のふるさとになる、自分のふるさとを再発見していく、こういった事業というのは3年間ということじゃなくて、継続的にやってもいいような事業じゃないかな、何で3年間で終わらせ

るのと、そういう感じがするんですけれども。

◇教育長 センター長。

◇生涯学習センター長 こちらの事業につきましては、具体的には地元学という冊子をつくる、つくって先代の文化等を後世につなぐという目的で、3年間で調査検証、それから今年度28年度で冊子を完成させるというような事業で、3年計画ということでやらせていただいて、今回28年度で完成いたしました。

今委員おっしゃったような学校に対する地域、世代間の交流、市の伝統芸能の継承とかは、16ページの学校支援という中で、例えば荒井の太々神楽の学校における学習の機会とか、そういったものは継続してまいりますので、そちらでカバーをすることをございます。

以上です。

◇4番委員 16ページの下のところになりますが、ここの文章も、もっと具体的に書いてもらいたい。ここは学校教育のほうなんでしょうけれども、何かふるさと、そういった事業みたいなものを膨らませるような表現にしてみると、わかりやすいのかなと思うんですけれども。

◇教育長 どうでしょうか、センター長。

◇生涯学習センター長 16ページの下の方、「主な取組み」の中で、(1)番の①と②がありまして、こちらが学校教育の活動支援事業ということで、具体的には先ほどおっしゃいました体験活動、地域の伝統芸能とか、例えば音楽の琴の体験とか尺八、それからいろんな学校の現場での要望におこたえしていたというものですから、どれかを出すということは可能ではあるんですが、かなり幅広いものですから、どのように表現するか、検討させていただきたいと思います。

◇4番委員 括弧して例を入れるとか、何とか等というような形で、ふるさとを見直す事業などがよくあるかと思うんですけれども、これだけでは、学校支援地域本部事業といわれても、どういう事業なのというような、そういう感じもするので、何か例を入れていただければと思います。

こちらは生涯学習センターのほうなんでしょうけれども、ふるさと魅力再発見という言葉が入っているのがなくなってしまうのは、ちょっと寂しいなんて言ったらあれですけども、こちらのほうでカバーできるような表現が入ればいいかなと思います。

◇教育長 これは、今センター長から説明があったとおり、白沢のほうはもうでき上がっていて、学校で活用しています。それから、今年は本宮のほうの地区が冊子としてでき上がります。それらを授業の中で活用を図っていくということで、ここへ残しておいたほうがいいかなという感じがしましたが、そういうことでいいですか。

今まではつくることをメインにしてやってきました。今度はそれを活用していくということで残したらいいかどうかということなので、どう考えますか。

センター長。

◇生涯学習センター長 活用ということになりますと、生涯学習じゃなくて学校の分野で活用していくというふうにするのが一番かと思います。

◇教育長 そうすると、先ほどの16ページの学校支援事業の事業を実施しているというところに、地元学冊子なども活用するという文言を一つ入れておきますか、せっかくこういうものをつくっても、つくって配布したら終わりだというのではなくて、今の委員からのお話だと、全部さっと切ってしまうのではなく。

◇生涯学習センター長 ここは生涯学習の担当となっております、学校支援、うちのほうが担当しておりますが、こちらは学校が主体となって、こういったことを体験させたい、学習させたいとい

うものが要求をいただいて、うちのほうで地元の適正、適正な講師の方というんですか、そういったものを派遣しているという事業なんです。ですから、地元の校区で学校を使ってくださいというような積極的なアピールは、今のところではしていません。

つまり、学校からの要望で講師を派遣しているという形で、地元学の冊子をここで、支援の中で使ってくださいというような位置づけではないと思いますので、学校のどちらかの分野で使っていくというような方法が一番適切なのかなという。

◇教育長 学校の校長ですか。

◇参事兼管理主事兼指導主事 一つの提案なんですけれども、資料の13ページの施策の5のところに、「震災の教訓を踏まえた地域とつながる特色ある教育の推進」というのがありまして、「主な取り組み」の(3)番に「伝統・文化に関する教育の推進と地域学習の推進」という項目があります。この中に、社会科副読本というのは入ってはいますけれども、そののところに場合によっては、本宮・白沢地元学を活用しという文言を一つ入れるというのは可能かなというふうに考えています。

◇教育長 という案が出ましたが、いかがでしょうか。それでよろしいですか。

◇4番委員 よろしくお願ひしたいと思います。

◇教育長 それでは、13ページの、今お話があったところに、(3)番に盛り込むということでもよろしいでしょうか。そのようにしていきます。

そのほか、いかがでしょうか。

古宮委員。

◇3番委員 10ページの、国内交流派遣事業ですが、たしか昨年度は宜野座村のほうで受け入れ態勢がちょっと十分ではないということで、一回削除したのですが、今回はその辺の受け入れ態勢が、ある程度整ってきたということでよろしいのでしょうか。

◇教育長 参事。

◇参事兼管理主事兼指導主事 平成29年度につきましては、全国へそのまち協議会の記念事業という形で、29年度の総会の開催地である沖縄の宜野座村に、関係市町村の小学生を集めて、そこで授業をするというような、協議会のほうの事業が始まるということになりました。それで、それを受けて、まず29年度についてはその事業に乗る形で、市としても国内派遣事業として実施をするという考えでいます。

ただ、こちらにつきましては、30年度以降の実施がどうなるかということについては、実際29年度に一回実施をしてみて、成果が大きいのことになれば多分検討するという事も出てくるんだろうと思いますが、そういった状況になります。

以上です。

◇教育長 国内交流派遣事業というのは、一回消えたんですけれども、その前には国内外と入っていましたか、入っていませんでしたか、どうだったでしょうか。

◇幼保学校課長 入っていました。

◇教育長 入っていましたね。そうすると、一応国内外と入れることができるかどうか。やるとかやらないとかじゃなくて、ちょっと一回消えた経緯があつて、いろいろ構想していたときがあったものですから、もし入れられるのであれば、国内外と。

そのほか、いかがでしょうか。

渡辺委員。

◇2番委員 5ページの重点施策の表の中に、「ICT環境の整備」と書いてあるんですけれども、予

算要望とかした中で、こちらには書いてあるんですけども、こちらの11ページのほうの「主な取組み」とかには記載はされていないんですが、これは予算的な部分なのでしょうか。

◇教育長 ありがとうございます。どうでしょうか、ここに一応入れるか、計画の段階で。学力向上の2としてICTを入れるかどうかという、11ページ。

どうぞ、課長。

◇幼保学校課長 それでは、今年度よりICT関係の環境整備を始めることといたしましたので、こちらの11ページのほうにもあわせて文言を追加させていただきたいと思います。

◇教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

谷委員。

◇1番委員 11ページのところの主な取組みの1番の(4)番、消えているところなんですけど、今までと内容的には重なるところがあるので、ここは削除したというご説明だったような気がするんですが、内容的には去年というか今年度の内容と同じ内容という理解でよろしいのでしょうか。

◇教育長 参事。

◇参事兼管理主事兼指導主事 委員おっしゃるとおりで、文言の整理をしたということであって、内容的なものは変わりません。

◇教育長 そのほか、いかがでしょうか。

14ページの「家族読書100冊」と書いてありますが、これ100選と選ぶほうだったかなと、どっちの表記だったか、後で調べてみたいなと思っています。

そのほかございませんか。

[発言する人なし]

◇教育長 じゃ、質疑がなければ打ち切って、採決することに異議ありませんか。

〔「はい」と言う人あり〕

◇教育長 それでは、議案第1号を承認するというので決めます、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

◇

◎報告第1号 スキー体験教室について

◇教育長 次に、報告第1号 スキー体験教室について、お願いいたします。

幼保学校課長。

◇幼保学校課長 それでは、資料の2ページをごらんいただきたいと思います。

平成28年度スキー教室の日程でございます。

本年1月26日から2月21日にかけて、各小学校実施の予定が、表のとおり決定をいたしました。対象は3年生から6年生まででございます。

実施場所につきましては、あだたら高原スキー場となっております、実施内容でございますが、インストラクターによるスキーの指導ということで、午前10時から午後2時30分まで、レベルに応じた班編成による指導を行う予定でございます。

おおむね10人の児童に対し、インストラクター1名を配置しての指導をする予定となっております。

以上となります。

◇教育長 それでは、報告第1号に対する質疑を行います。

[発言する人なし]

◇教育長 質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

[「はい」と言う人あり]

◇

◎報告第2号 にじいろひろば2016冬. 活動報告について

◇教育長 それでは、次に報告第2号 にじいろひろば2016冬. 活動報告について説明をお願いいたします。

指導主事。

◇指導主事 では、要綱の3ページから13ページとなりますので、お開きください。

にじいろひろば2016冬. 活動報告書について説明させていただきます。

この活動は、市内在住の小・中学生で、既にスクールソーシャルワーカーが支援に入っている児童・生徒に対して、冬季休業中の居場所づくりとして取り組んでまいりました。

4ページにありますとおり、今回は小・中合わせて20名が参加しております。

活動につきましては、12月27、1月5日、6日の3日間、中央公民館などで実施をしてまいりました。

5ページ上段にありますとおり、数多くのスタッフの方々にご協力をしていただいたおかげで、子供たちは家から出て集中して学習に取り組んだり、コミュニケーションスキルを向上させて人とつながるという活動に取り組んで、有意義に冬休みを過ごすことができるようになりました。

課題としましては、6ページにありますとおり活動内容、今回主に学習支援が中心でございましたので、活動内容の多様化を図るという部分、それから子供たちだけでなく保護者を巻き込んでの活動、そういったことが今後の課題として上げられるところです。夏、また予定をしておりますので、そういったところでこの課題を生かしてまいりたいと考えているところです。

以上でございます。

◇教育長 それでは、報告第2号に対する質疑を行います。

谷委員。

◇1番委員 参加勧奨人数というのは、かかわられている方たちの人数ということで、ここに人数が上がっているんだと思うんですが、参加してくださいというお話のときは、特にその方たちに強くアピールするみたいな形の参加形態で、応募をかけているんでしょうか。

◇教育長 指導主事。

◇指導主事 そうです、実際、ふだんスクールソーシャルワーカーがかかわっている子供たちを中心に、参加の対象としておりますので、そういった子供たちを中心に、スクールソーシャルワーカーが直接言葉かけをすること、声かけすることもあります。担任の先生を通じてだったり、またはその子供と特にかかわりのある、例えば保健室の先生を通してとかという形で、子供たちに参加を呼びかけたということでございます。

◇教育長 谷委員。

◇1番委員 ちょっと感想というか、まゆみ小学校がお一人も参加がないというのは、強制のものではないので、当然ご本人やご家族が無理ということだと、参加される方がいないというのも理解できるんですが、原因としては、交通手段が親御さんの送り迎えが基本ということなので、そのあたりが一番の問題点なのか、ほかにも何か聞こえてきたお声というのがあるのかどうか、その辺を教えてくださいたいと思います。

◇教育長 指導主事。

◇指導主事 私のほうに今入っている情報では、まさに今委員おっしゃったとおり、今回は中央公民館、それから白沢、そして岩根と、各中学校区に1回ずつでやろうということをやっていたんですが、それをたまたま、この中央公民館ですと学区内であるのでしやすいんですけども、そのときは何か都合があって参加できない、よそのところだと、今度は交通手段がない、そういったことでの参加がうまくいかなかったというふうなことになったんだと思います。

◇教育長 そのほかございませんか。

[発言する人なし]

◇教育長 質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

[「はい」と言う人あり]

◎報告第3号 第35回上尾市市民駅伝競走大会参加について

◇教育長 次に、報告第3号 第35回上尾市市民駅伝競走大会参加について、説明をお願いいたします。

センター長。

◇生涯学習センター長 資料は14ページから17ページにかけてになります。

14ページの実施要項をごらんいただきたいと思います。

上尾市との子供の交流事業として、先ほどありました本宮駅伝で優勝した五百川小学校1チームと中学生選抜チームの2チームの計3チームが、代表として上尾市駅伝競走大会へ参加します。

期日は2月11日土曜日から12日日曜日にかけて、1泊2日の行程で大会に参加します。

参加人数は小学生が12名、中学生が11名、そのほか名簿にございませんが指導者が3名、そのほか市職員が2名、総勢27名で参加をする予定であります。

参加者につきましては、資料の参加申込書をごらんいただきたいと思います。

以上、駅伝競走大会参加についての説明とさせていただきます。

◇教育長 それでは、報告第3号に対する質疑を行います。

[発言する人なし]

◇教育長 質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

[「はい」と言う人あり]

◎追加報告について

◇教育長 次に、そのほか、事務局から報告等があればお願いいたします。

[「ありません」と言う人あり]

◎次回開催日程について

◇教育長 それでは、ないようですので、次回の教育委員会の日時を決めたいと思います。

[「次回開催日程について協議」]

◇教育長 それでは、23日13時30分からにしますので、よろしく申し上げます。

◎閉会の宣告

◇教育長 それでは、これをもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。

【午後 2時10分閉会】

この会議録は真実と相違ないことを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

教 育 長 _____

3 番 委 員 _____

4 番 委 員 _____

書 記 _____